

第 6 回呉市立美術館あり方検討委員会摘録

令和 6 年 8 月 8 日(木) 13:30～16:10

呉市役所 7 階 752 会議室

【委員】

〔出席者〕

呉市立美術館 館長	横 山 勝 彦
広島市現代美術館 館長	寺 口 淳 治
呉市教育委員会 教育部長	石 川 直 之
呉市産業部 副部長	兼 光 賢
呉市文化スポーツ部 部長	多 田 博

〔欠席者〕

京都国立近代美術館 館長	福 永 治
--------------	-------

【概要】

○視察美術館（八戸市美術館・十和田市現代美術館）との比較・検討について

【八戸市美術館】市民が集うことに重点を置いた社会教育施設としての美術館

【十和田市現代美術館】観光客誘致に重点を置いた観光施設としての美術館

○呉市幸町地区総合整備検討有識者会議での施設・機能配置案（A 案・B 案）について

- ・ B 案の青山クラブに美術館がそのまま入る改修には反対（天井高が低すぎるため。）
- ・ 桜松館については残していく方向である。

○新美術館の建設に向けて

- ・ 美術館の外観等について（広場の重要性）
- ・ 美術館建設についての特筆事項
- ・ 公立美術館としての社会教育的役割（教育・福祉を含めた住民との連携）

＜主な意見のまとめ＞

A 視察美術館（八戸市美術館・十和田市現代美術館）との比較・検討について

《八戸市美術館ジャイアントルーム（巨大な一室空間）について》

- 可動式の間仕切りやカーテンにより，活動に合わせてレイアウトを変えることができる
- 飲食可能で誰でも自由に使える空間であり，交流・イベント・展覧会など，さまざまな場を作り出すことができる

- ・小中学生は行きやすいと思う。芸術文化に限らずネットワークが広がるのは面白いが，呉で考えると美術館内になくとも周りにあればいいと思う。【石川委員】
- ・美術館の中に空間を作っていることや「見る美術館から使う美術館へ」というコンセプトを形にしたことは興味深い。呉で考えると幸町地区内にそういった施設（スペース）を整備できればいいと思う。【多田委員】
- ・八戸市美術館は美術館という名の公民館というイメージ。呉市では幸町地区内で機能分担ができれば良い。【兼光委員】
- ・美術館として作品が見えてこないことが気になった。【寺口委員】
- ・面白い企画になる可能性もあるが，飲食可能というのは作品の保存環境としては良くない。【横山委員長】

《十和田市現代美術館について》

- ・現代美術館ということだったが，イメージしていた美術館とは全く違った。作品が基本的に変わらないので，リピーターについては疑問に思った。【石川委員】
- ・美術館を産業部が所管しており，市の施策として観光施設と言われていた。展示替えもなく収蔵庫もないということなので，建物的には呉市の参考にはならない。【多田委員】
- ・美術館という名の観光施設となっており，人を呼ぶための施設になっている。呉市では幸町地区に人をたくさん呼ぶことが目的という側面もあるが，今は市民のための幸町地区としての活用方法が議論されていると思う。【兼光委員】
- ・何もないところから始めるのならこういう手法もあるのかといった感じだが，本来作品の展示や保存もするべきところだが，それがされていないことは市民のためになっているのだろうかと感じた。【寺口委員】
- ・施設の目的自体が観光資源ということで呉市の目指すところではないが，企画展の来館者が3万人を超えるなどの実績があり，PRの手法等について学ぶべきところはある。【横山委員長】

B 呉市幸町地区総合整備検討有識者会議での施設・機能配置案（A案・B案）について

- ・ B案の青山クラブに美術館が入ることには、天井が低すぎるという理由から反対である。新美術館はどちらの案にしても新築であると考えている。桜松館は残していく方向とされている。【横山委員長】

C 新美術館の建設に向けて

《美術館の外観等について（広場の重要性）》

- ・ 視察したどちらの美術館についても建物の前に広場的なスペースがあった。市民が集まる広場は呉市にも必要なのではないと思う。【横山委員長】
- ・ 美術館の建物自体が美術館のイメージを作ることについては、その通りだと思う。もちろん中身も大事だが、外観も大事だと思う。【石川委員】
- ・ 青山クラブ建築当初のデザインの外観というのはあり得るのか？【多田委員】
- ・ 常々、美術館は外観でなく機能にこだわると言っているが、今の美術館の建物の雰囲気が好きだと言われることもある。そこを考えていくのか、最新のデザインにするのかは設計者が決まってからの話になるのではないと思う。【横山委員長】

《美術館建設についての特筆事項》

- ・ 呉市立美術館は海が近いので、外気を入れる空調機のフィルターは4層フィルターが必要となり、フィルター交換に当たっては年間数百万円かかる。【寺口委員】
- ・ 広島市現代美術館のリニューアルでは、エレベーター（3トンの重量の対応）2基の交換が必要で、リニューアル改修費 23 億円の内、5 億円かかった。平屋であればエレベーターが不要になるので、ランニングコストとしては良いと思うが。【寺口委員】
- ・ 呉市立美術館は地下水の問題もあるので、収蔵庫を地下に作りたくない。エレベーターも建物の外に設置すればそこまでお金がかからないということもある。【横山委員長】
- ・ 美術館の入口が国道に面していると、騒音・排気ガス等、環境面で問題がある点からも前広場が必要である。【横山委員長】

《公立美術館としての社会教育的役割（教育・福祉を含めた住民との連携）》

- ・ 公立美術館は、教育・福祉を含めて住民と連携を保っていかなければ運営できない。社会教育的役割を担う必要があるので、そこはしっかりやっていきたい。
- ・ 美術館としての作品を伝えていくことだけを強調するのではなく、そのことを前提として市の財産である美術作品をどう展開していくかということが重要である。
- ・ 学校教育との連携に対する取り組みを糸口として、高齢者・障がい者等の利用促進に向けた取り組みについても、今後議論していきたい。【横山委員長】